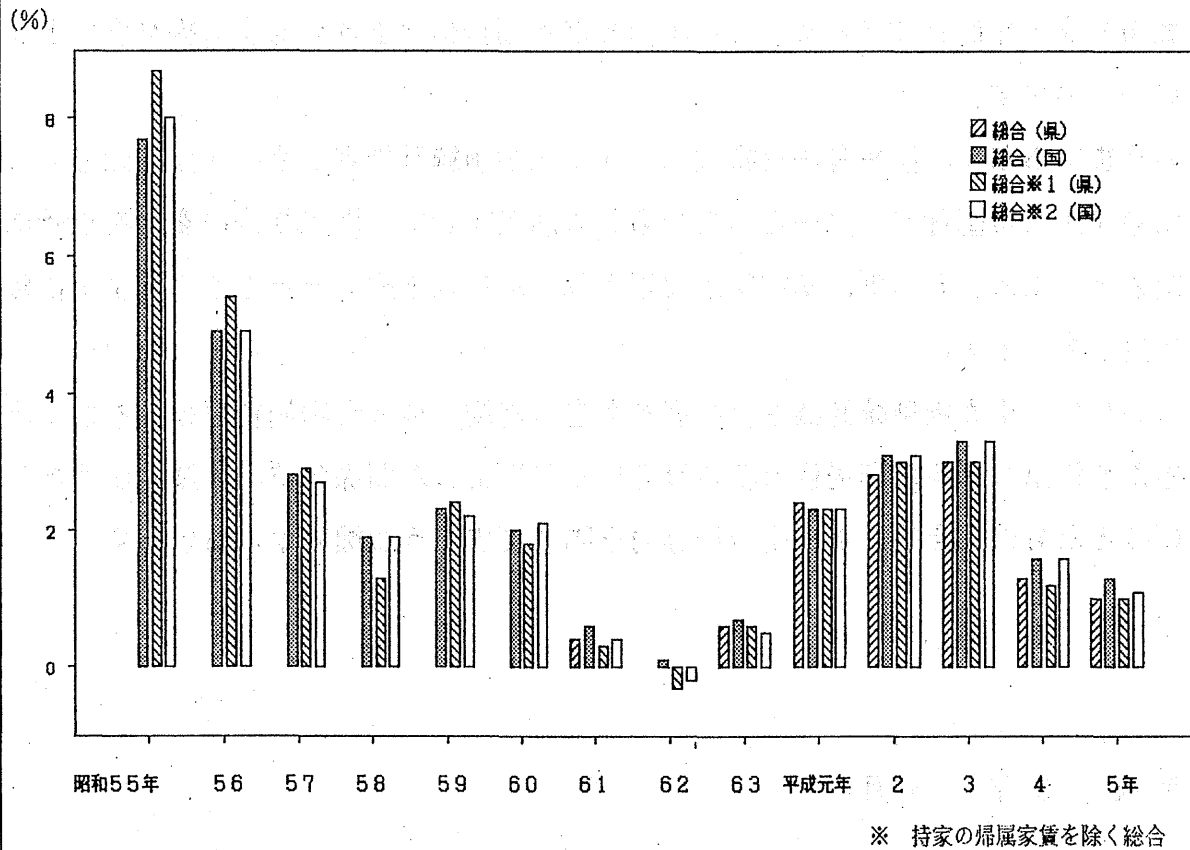


平成5年平均三重県消費者物価指数の動向

図1 消費者物価指数対前年上昇率



1. 概 要

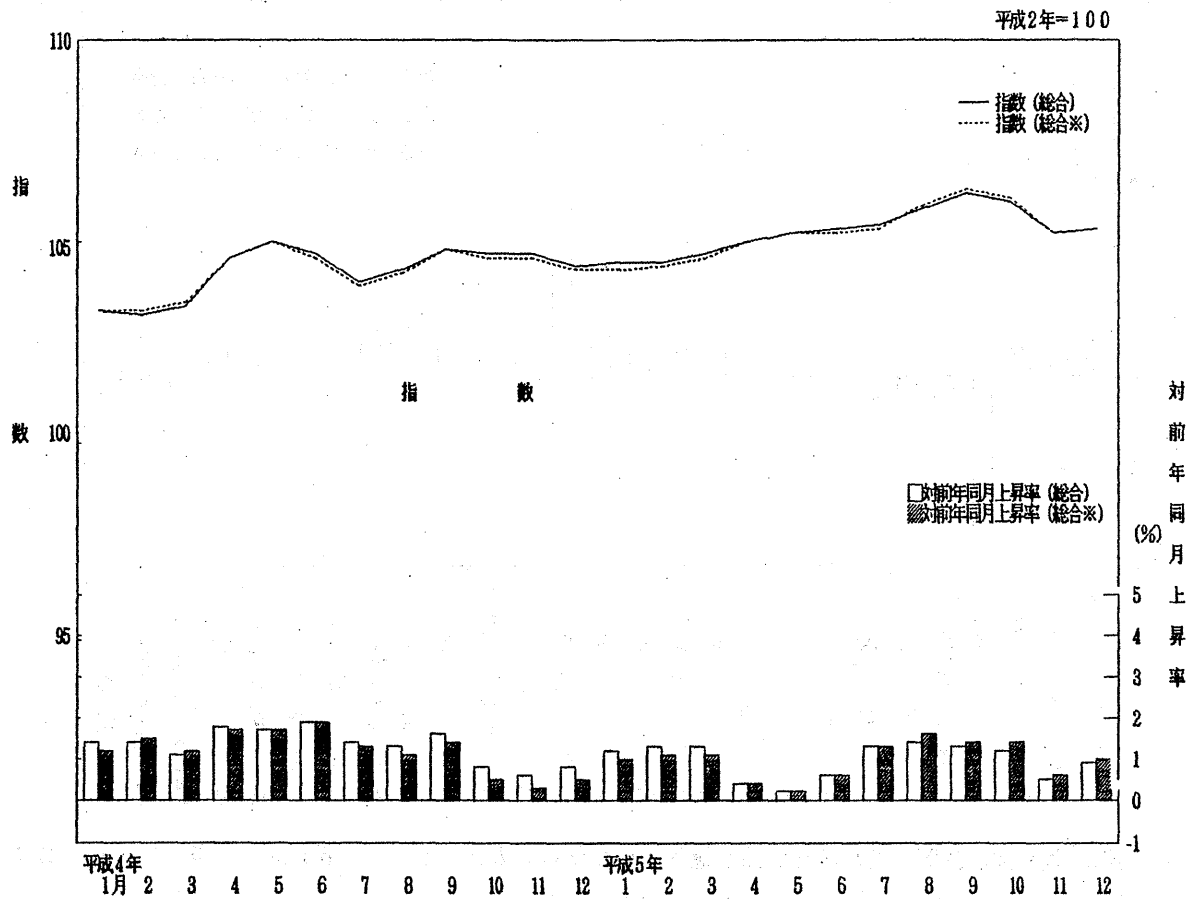
県…… 平成5年平均三重県消費者物価指数は、平成2年を100とした総合指数で105.0となり、前年に比べ(+)1.0%の上昇となった。

持家の帰属家賃を除く総合指数は105.2となり、前年に比べ(+)1.0%の上昇となった。

最近の総合指数の対前年上昇率の推移をみると、昭和61年(+)0.4%、62年(±)0.0%、63年(+)0.7%と3年連続して1%未満の上昇で極めて安定した動きで推移してきた。しかし、平成元年は4月から消費税の導入もあって(+)2.4%の上昇となった後、2年は(+)2.8%、3年は(+)3.0%と上昇幅が拡大した。しかし、4年は(+)1.3%の上昇と4年ぶりに上昇率が2%を下回り、5年は(+)1.0%の上昇で、前年の上昇幅から0.3ポイント縮小した。

国…… 平成5年平均全国消費者物価指数は、平成2年を100とした総合指数で106.4で、前年に比べ(+)1.3%の上昇となり、前年の上昇幅(+)1.6%から0.3ポイント縮小した。

図2 月別の動向



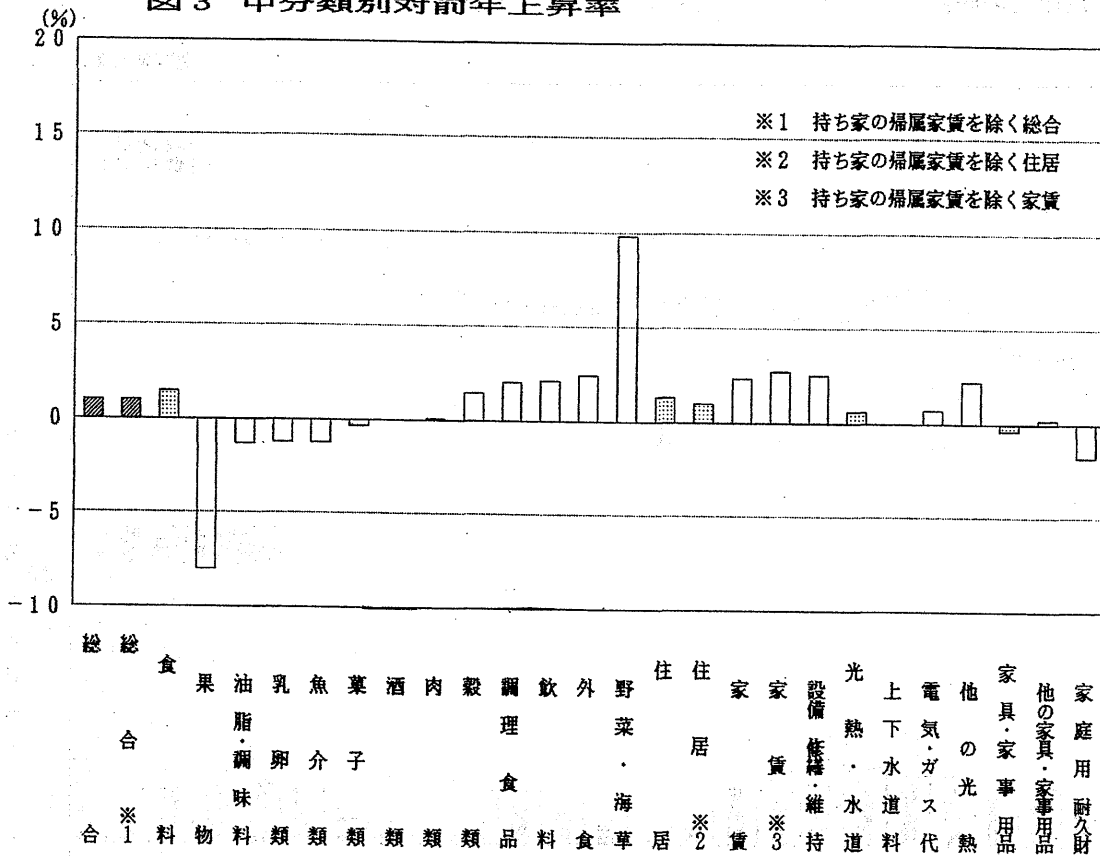
※ 持家の帰属家賃を除く総合

2. 年間の動き

平成5年の消費者物価指数（総合指数）の動きを対前月上昇率で見ると、次のとおりである。

- 1月……衣料、シャツ・下着、乳卵類が値下がりしたものの、その他（諸雑費）、野菜・海草、果物、魚介類が値上がりしたため（+）0.1%の上昇。
- 2月……果物、乳卵類、野菜・海草、調理食品、魚介類が値上がりしたものの、シャツ・下着、衣料、身の回り用品、生地・他の被服類が値下がりしたため（±）0.0%となり前月と変わらなかった。
- 3月……果物、乳卵類、教養娯楽用耐久財、魚介類が値下がりしたものの、衣料、生地・他の被服類、シャツ下着、穀類が値上がりしたため（+）0.2%の上昇。
- 4月……乳卵類、穀類、飲料が値下がりしたものの、シャツ・下着、授業料等、野菜・海草、衣料、保健医療用品・器具、保健医療サービスが値上がりしたため（+）0.3%の上昇。
- 5月……果物、魚介類、菓子類が値下がりしたものの、シャツ・下着、教科書・学習参考書、乳卵類、衣料、野菜・海草、外食、他の家具・家事用品が値上がりしたため（+）0.2%の上昇。

図3 中分類別対前年上昇率

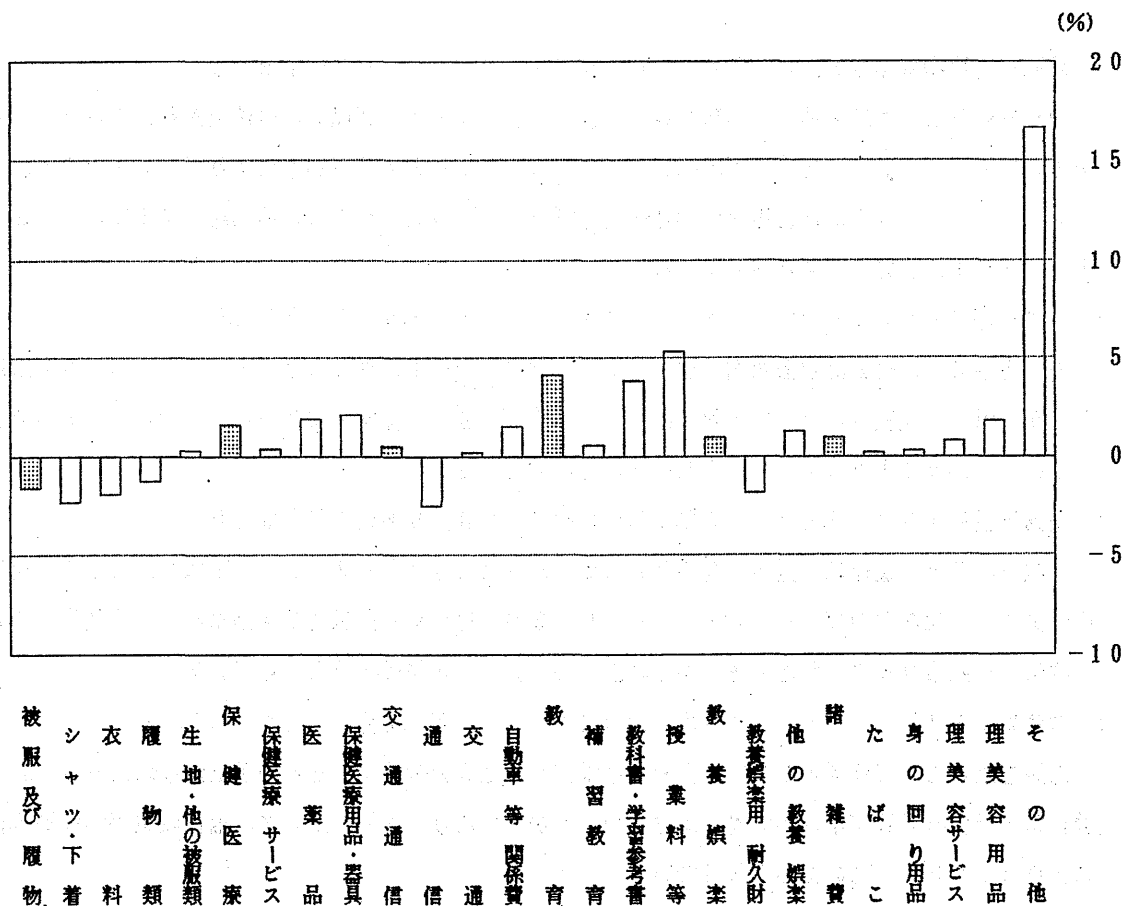


- 6月……果物、魚介類、野菜・海草、乳卵類が値下がりしたものの、シャツ・下着、飲料、理美容用品、他の教養娯楽が値上がりしたため(+)0.1%の上昇。
- 7月……シャツ・下着、果物、衣料、家庭用耐久財が値下がりしたものの、野菜・海草、外食、交通、他の教養娯楽が値上がりしたため(+)0.1%の上昇。
- 8月……シャツ・下着、衣料、履物類、乳卵類が値下がりしたものの、果物、野菜・海草、魚介類、菓子類、他の教養娯楽が値上がりしたため(+)0.4%の上昇。
- 9月……魚介類、生地・他の被服類、他の教養娯楽が値下がりしたものの、シャツ・下着、衣料、果物、穀類、履物類、野菜・海草が値上がりしたため(+)0.4%の上昇。
- 10月……魚介類、生地・他の被服類、衣料、シャツ・下着、身の回り用品、他の教養娯楽が値上がりしたものの、野菜・海草、果物、医薬品が値下がりしたため(-)0.2%の下落。
- 11月……乳卵類、穀類、保健医療用品・器具、油脂・調味料が値上がりしたものの、野菜・海草、果物、通信、他の光熱、飲料、電気・ガス代が値下がりしたため(-)0.8%の下落。
- 12月……果物、シャツ・下着、油脂・調味料、衣料、教養娯楽用耐久財が値下がりしたものの、魚介類、野菜・海草、医薬品、飲料、乳卵類が値上がりしたため(+)0.1%の上昇。

3. 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると、次のとおりである。

- 食料は105.1となり、4年平均に比べ(+)1.4%上昇した。



内訳をみると、魚介類は、生鮮魚介のサンマ、タラなどが値上がりしたものの、カツオ、サケ、ホタテ貝などが値下がりし、また、干しあじ、いか燻製なども値下がりしたため、(-) 1. 2%の下落となっている。野菜・海草は生鮮野菜のゴボウ、生しいたげなどが値下がりしたものの、キャベツ、レタス、さといも、れんこんなどの値上がりにより (+) 9. 8%の上昇となっている。果物は、生鮮果物のかき、ぶどう(デラウエア)が値上がりしたものの、夏みかん、りんご(ふじ)、バナナ、キウイフルーツなどが値下がりしたため、(-) 8. 0%の下落となっている。また、穀類がもち、もち米、うるち米などの値上がりにより (+) 1. 4%、乳卵類が鶏卵、ヨーグルトなどの値下がりにより (-) 1. 2%、油脂・調味料がソース、フリカケなどの値下がりにより (-) 1. 3%、菓子類がようかん、落花生、ビスケットなどの値下がりにより (-) 0. 3%、調理食品がぎょうざ、豚カツ、コロッケなどの値上がりにより (+) 2. 0%、飲料はジュース、コーヒー豆、緑茶などの値上がりにより (+) 2. 1%、外食がスパゲッティ、ビールなどの値上がりにより (+) 2. 4%の上昇となっている。

○ 住居は107. 9となり、4年平均に比べ (+) 1. 3%の上昇となった。

内訳をみると、家賃が民営家賃、公営家賃などの値上がりにより (+) 1. 0%、設備修繕・維持がベニヤ板、大工手間代、左官手間代、塀工事費などの値上がりにより (+) 2. 7%の上昇となっている。

○ 光熱・水道は105. 7となり、4年平均に比べ (+) 0. 6%の上昇となった。

内訳をみると、電気・ガス代がプロパンガスなどの値上がりにより (+) 0. 7%、他の光熱が灯油の値上がりにより (+) 2. 2%の上昇となっている。

○ 家具・家事用品は103. 1となり、4年平均に比べ (-) 0. 4%の下落となった。

内訳をみると、他の家具・家事用品が皿、タワシなどの値上がりにより (+) 0. 2%上昇したものの、家庭用耐久財が自動炊飯器、ルームエアコンなどの値下がりにより (-) 1. 8%の下落となっている。

- 被服及び履物は103.4となり、4年平均に比べ(-)1.6%の下落となった。
内訳をみると、生地・他の被服類が仕立代、糸糸、クリーニング代などの値上がりにより(+)-0.3%上昇したものの、衣料が男子上着、婦人スーツ、スカートなどの値下がりにより(-)1.9%、シャツ・婦人Tシャツ、婦人下着などの値下がりにより(-)2.3%、履物類が運動靴、子供靴などの値下がりにより(-)1.2%の下落となっている。
- 保健医療は104.5となり、4年平均に比べ(+)-1.6%の上昇となった。
内訳をみると、医薬品が浴用剤、総合ビタミン剤などの値上がりにより(+)-0.4%、保健医療用品・器具が体温計、血圧計などの値上がりにより(+)-1.9%、保健医療サービスが診察料、分娩料、入院費などの値上がりにより(+)-2.1%の上昇となっている。
- 交通通信は100.6となり、4年平均に比べ(+)-0.5%の上昇となった。
内訳をみると、通信は通話料(遠距離)の値下がりにより(-)2.5%と下落したものの、交通がバス代、タクシー代などの値上がりにより(+)-0.2%、自動車等関係費が自動車バンク修理代、自動車免許手数料、自動車ワックスなどの値上がりにより(+)-1.5%の上昇となっている。
- 教育は112.9となり、4年平均に比べ(+)-4.1%の上昇となった。
内訳をみると、授業料等がPTA会費(中学校)、私立大学授業料などの値上がりにより(+)-5.3%、教科書・学習参考書が学習参考書(国語)の値上がりにより(+)-3.8%、補習教育が学習塾の値上がりにより(+)-0.6%の上昇となっている。
- 教養娯楽は107.4となり、4年平均に比べ(+)-1.0%の上昇となった。
内訳をみると、教養娯楽用耐久財が小型電卓、ビデオテープレコーダー、カメラなどの値下がりにより(-)1.8%と下落したものの、他の教養娯楽が単行本、人形、切り花、マージャン遊技料などの値上がりにより(+)-1.3%の上昇となっている。
- 諸雑費は103.5となり、4年平均に比べ(+)-1.0%の上昇となった。
内訳をみると、理美容サービスが入浴料、理髪料などの値上がりにより(+)-1.8%、理美容用品が歯ブラシ、化粧品(クリーム)などの値上がりにより(+)-0.8%、身の回り用品は腕時計、ハンドバッグなどの値上がりにより(+)-0.3%、タバコが(+)-0.2%、その他が戸籍抄本手数料などの値上がりにより(+)-16.7%の上昇となっている。

4. 寄与率

各分類の上昇率が、総合指数の上昇率(+)-1.0%に影響を及ぼした主なものを大分類で寄与率をみると上昇の寄与率は、食料が(+)-45.2%、住居(+)-19.9%、教育(+)-17.0%、教養娯楽(+)-12.5%、交通通信(+)-6.4%の上昇となっており、下落の寄与率は、被服及び履物(-)-14.4%、家具・家事用品(-)-1.8%となっている。

中分類に主なものをみると、上昇の寄与率は、野菜・海草(+)-34.0%、外食(+)-19.9%、授業料等(+)-15.5%、他の教養娯楽(+)-14.1%、家賃(+)-12.5%、自動車等関係費(+)-11.1%、となり下落の寄与率は、果物(-)-11.8%、衣料(-)-7.8%、シャツ・下着(-)-5.6%となっている。

表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成2年=100

	県				全 国					県				全 国			
	総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)	総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)		総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)	総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)
昭和55年	-	-	82.4	8.7	81.7	7.7	82.3	8.0	62	94.4	0.0	94.3	-0.3	94.2	0.1	94.4	-0.2
56	-	-	86.8	5.4	85.6	4.9	86.3	4.9	63	95.0	0.6	94.9	0.6	94.9	0.7	94.8	0.5
57	-	-	89.3	2.9	88.0	2.8	88.6	2.7	平成元年	97.3	2.4	97.1	2.3	97.0	2.3	97.0	2.3
58	-	-	90.5	1.3	89.6	1.9	90.3	1.9	2	100.0	2.8	100.0	3.0	100.0	3.1	100.0	3.1
59	-	-	92.6	2.4	91.7	2.3	92.3	2.2	3	103.0	3.0	103.0	3.0	103.3	3.3	103.3	3.3
60	94.0	-	94.3	1.8	93.5	2.0	94.2	2.1	4	104.3	1.3	104.2	1.2	105.0	1.6	105.0	1.6
61	94.4	0.4	94.6	0.3	94.1	0.6	94.5	0.4	5	105.3	1.0	105.2	1.0	106.4	1.3	106.2	1.1

表2 対前年同月上昇率

単位：%

年	月	平成	5.1	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	5.9	5.10	5.11	5.12
		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
			4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	4.6	4.7	4.8	4.9	4.10	4.11	4.12
総 合	県		1.2	1.3	1.3	0.4	0.2	0.6	1.3	1.4	1.3	1.2	0.5	0.9
	全 国		1.3	1.4	1.2	0.9	0.9	0.9	1.9	1.9	1.5	1.3	0.9	1.0
持 家 を 除 く 帰 属 家 賃 の 総 合	県		1.0	1.1	1.1	0.4	0.2	0.6	1.3	1.6	1.4	1.4	0.6	1.0
	全 国		1.1	1.3	1.2	0.9	0.7	0.9	1.9	1.8	1.3	1.2	0.9	0.9

表3 5市平均中分類指数・寄与度・寄与率

(平成 2年=100)

指 数	指 数		対前年上昇率 (%)		寄与度	寄与率 (%)
	平成4年平均	平成5年平均	平成4年平均	平成5年平均	平成5年	平成5年
総合食料類	104.3	105.3	1.3	1.0	0.959	100.0
総合食料類 (※1)	104.2	105.2	1.2	1.0	0.866	90.3
穀類	103.7	105.1	-0.2	1.4	0.433	45.2
魚介類	105.6	107.1	3.5	1.4	0.046	4.8
生鮮魚介類	105.8	104.5	1.6	-1.2	-0.043	-4.5
肉卵類	100.0	97.4	-1.6	-2.6	-0.054	-5.6
野菜・海藻類	101.4	101.5	0.7	0.1	0.003	0.3
生鮮野菜類	98.8	97.6	-5.2	-1.2	-0.015	-1.6
果物類	97.4	106.9	-10.4	9.8	0.326	34.0
生鮮果物類	90.0	103.7	-18.7	15.2	0.311	32.4
油脂・調味料類	105.6	97.2	-2.3	-8.0	-0.113	-11.8
菓子類	104.9	96.6	-2.5	-7.9	-0.108	-11.3
調理食料類	110.9	109.5	0.5	-1.3	-0.014	-1.5
飲料類	105.5	105.2	0.9	-0.3	-0.007	-0.7
酒類	105.6	107.7	1.1	2.0	0.048	5.0
外食	107.6	109.9	4.6	2.1	0.026	2.7
居住 (※2)	102.4	102.4	-0.1	0.0	0.000	0.0
住宅 (※3)	103.5	106.0	1.7	2.4	0.191	19.9
家賃 (※3)	106.5	107.9	3.7	1.3	0.183	19.1
設備修繕・維持	111.1	106.6	6.3	1.0	0.104	10.8
光熱・水道	105.5	112.9	3.3	2.3	0.120	12.5
電気・ガス	110.4	114.2	7.4	2.7	0.039	4.1
ガスの代熱料	111.2	113.9	5.4	2.5	0.066	6.9
他の光熱料	105.1	105.7	0.1	0.6	0.031	3.2
上下水道	105.2	105.9	0.3	0.7	0.029	3.0
家具・家事用品	100.0	99.7	0.0	-0.3	-0.008	-0.8
家庭用耐久財	113.0	115.2	0.9	1.9	0.034	3.5
他の家具・家事用品	110.2	112.6	-3.6	2.2	0.007	0.7
被服及び履物	102.3	102.3	0.2	0.0	0.000	0.0
衣類	103.5	103.1	2.3	-0.4	-0.017	-1.8
シャツ・下着	102.2	100.4	2.4	-1.8	-0.026	-2.7
履物	104.1	104.3	2.2	0.2	0.006	0.6
生地・他の被服類	105.1	103.4	1.3	-1.6	-0.138	-14.4
保健医療用品	103.9	101.9	0.6	-1.9	-0.075	-7.8
医薬品	103.6	101.2	1.5	-2.3	-0.054	-5.6
保健医療用品・器具	109.0	107.7	2.2	-1.2	-0.010	-1.0
保健医療サービス	108.2	108.5	1.8	0.3	0.004	0.4
交通通信	102.9	104.5	1.9	1.6	0.050	5.2
自動車等関係	99.6	100.0	-2.1	0.4	0.004	0.4
教育	103.2	105.2	0.7	1.9	0.012	1.3
授業料等	104.7	106.9	4.5	2.1	0.035	3.6
教科書・学習参考書	100.1	100.6	-0.3	0.5	0.061	6.4
補習教育	103.8	104.0	3.2	0.2	0.006	0.6
養育費	99.7	101.2	-1.3	1.5	0.106	11.1
養育費	96.0	93.6	-2.1	-2.5	-0.052	-5.4
娯楽用品	108.5	112.9	3.7	4.1	0.163	17.0
娯楽用品	109.4	115.2	4.7	0.0	0.149	15.5
娯楽用品	108.2	112.3	0.7	3.8	0.009	0.9
娯楽用品	106.3	106.9	2.2	0.6	0.006	0.6
娯楽用品	106.3	107.4	3.3	1.0	0.120	12.5
娯楽用品	101.1	99.3	1.8	-1.8	-0.022	-2.3
娯楽用品	107.0	108.4	3.6	1.3	0.135	14.1
諸サービス	102.5	103.5	1.3	1.0	0.043	4.5
美容サービス	106.3	108.2	3.8	1.8	0.022	2.3
美容サービス	101.0	101.8	0.5	0.8	0.010	1.0
美容サービス	101.7	102.0	-0.2	0.3	0.003	0.3
美容サービス	100.5	100.7	0.4	0.2	0.002	0.2
美容サービス	100.0	116.7	0.0	16.7	0.005	0.5

※1 持家の帰属家賃を除く総合
 ※2 持家の帰属家賃を除く住居
 ※3 持家の帰属家賃を除く家賃